

夢を諦めない！

書店アルバイトから司書補、司書、学校司書へ

函館市在住 Kさん 女性 受講当時 59 歳

2003 年 岩手県の大学で司書補講習を受講し、司書補資格を取得

2021 年 関東の大学で司書講習を受講

2022 年 桃大の司書講習で司書資格を取得・学校司書養成講座を履修し修了

Q1：司書補講習を受講される前は何をされていたか？

A：当時、大手の書店で勤務していました。

お客様から本のある場所を尋ねられたりしても、毎日忙しすぎて 1 人のお客様に時間をかけて対応出来ず、心を痛めていました。



Q2：司書補講習を受講されたきっかけは何ですか？



図書館なら売上げを考えなくても親身に対応が出来ると考えていました。

そのような時、嘘のような話ですが、書店によく来ていたお客様より公共図書館のアルバイトを勧められました。そして書店を退職し公共図書館で働けるようになり、3 年間実績を積み勉強資金も貯めて司書補を受験しました。

その方とは、たまに連絡はとっており大変感謝しております。

Q3：函館市在住ですが、どのように受講されたのですか？

A：「司書になるには」と調べ、司書補講習を受講出来るのが一番近くて岩手県の大学でした。

同じ講習を受講する人が集まった合宿所にずっと滞在したまま受講していました。



Q4：司書補資格を取得後、どのような業務に就かれていましたか？

A：総合病院の医局図書室や、大学図書館、公共図書館で勤務していました。



Q5：司書資格も取得しようと思ったきっかけは何ですか？



A：いざ現場に入ると、司書の方、資格のない方の間に挟まれ、調べると司書補は司書の助手と出てきたので、やっている内容は同じなので上を目指したくなりました。



Q6：受講を桃大にされた決め手は何ですか？



A：桃大受講の前年に、関東の大学で司書講習をオンラインで受講しました。

その時は1科目だけ落としてしまい、大変なショックを受けました。

それでも諦めず次年度に1科目だけ受講しようと思いました。

何ヶ所か大学を探し、どこにするか考えていたのですが、当時のスタッフの対応が親切丁寧で、迷っていた私はす

ぐに桃大に決めました。受講する科目には2日間だけ対面授業日がありました。

身近な人たちには「1科目だけ受講するために遠くまでいくことはないのでは」と反対されましたが、決意は変わりませんでした。

Q7：公共図書館にご勤務されていますが、学校司書養成講座も受講されたのは何故ですか？

A：もし、関東の大学で全科目合格していれば、そこで満足して終わっていました。

桃大の講習を受講したことで、全く知らなかった学校司書養成講座があることを知り、続けて受講しました。自分の司書人生を考えた時に、最後は学校司書で終わりたいと思っていた私は、導かれたように感じています。

今思えば不思議なことですが、関東の大学で1科目だけ落としたことをきっかけに桃大へ行き、学校司書への道が新たに開けたのです。



Q8：受講中に苦労したこと、楽しかったことは何ですか？

A：オンラインだったので、友達が出来ず情報交換が出来なかった事です。

楽しかった事は、佐久間先生の授業（児童生徒の発達と読書）でペープサートを作ってオンラインで披露した事です。あと、授業中に見せて頂いた先生の学校司書時代の写真や、普通は見ることのできない中学校の学校図書館の映像や写真もたくさん見る事が出来て、とてもよかったと思います。

Q9：修了後、司書講習と学校司書養成講座で学んだことが、実務で役に立ったことはありますか？

A：全て役に立っています。資料は宝物で、資料を自分でまとめたものを持ち歩いて、今も生活の隙間時間、例えば病院の待ち時間や、タイヤの交換中などにも見直しています。

分類記号の再確認や、学校現場での著作権や、図書館内の装飾などにも役に立っています。



Q10：司書資格取得と学校司書養成講座の履修修了後で、司書補時代と違うことは何ですか？

A：自信を持てるようになりました。

司書補の時は、あまり前に出ないように心がけていました。

Q11：今後のビジョンを教えてください。



A：学校図書館は、本を借り読むだけの場所ではなく、居心地の良い場所でありたいと考えています。生徒の心の拠り所となって、本を借りなくても、「なんとなく図書室って行きたくなるなぁ」と足を運んでもらえたら、これほど嬉しいことはありません。あとは、体が健康なうちは生涯現役でいたいと思っています！

Q12：最後に、これから受講を考えている方にコメントをお願いします

私は、59才で市の学科試験を受けて学校司書になりました。

その為に、受験勉強は、仕事の合間に子どもの通っていた学習塾で小中学生と一緒に勉強をしていました。塾では子どもたちから問題の解き方などを教わることもあり、子どもたちにお礼の飴を渡していました。その為に当時、私はたくさんの飴を専用袋に入れて携帯していました。(笑)

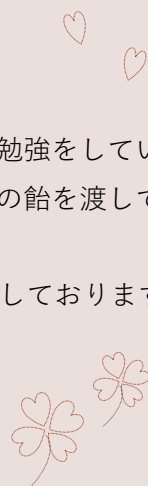
塾の先生や先生となってくれた子どもたちのお陰で合格することができ、とても感謝しております。

諦めなければ、夢は叶います。

何歳になっても向上心があれば大丈夫です。

何がきっかけになるかは本当に分かりません。

皆さんには「諦めないでください！」と、伝えたいです。





★K さん勤務の学校図書館
(教員と生徒との語らいの様子)



★山と緑に囲まれた自然豊かな中学校



★K さんご勤務の函館市立の中学校
(撮影 K さん)



★中学校前の高台からの風景
(撮影 K さん)

エクステンション・センターより

書店のアルバイトから公共図書館へ転職され、勤務経験を積み司書補資格を取得。
その後キャリアアップのため司書資格も取得され、更に学校司書を目指し会計年度任用職員の試験も合格されました。長年努力し続けて、ご自身の夢を叶えた K さん。
今もその向学心は燃え続けていらっしゃいます。
諦めない強い心意気で、K さんはこの先もずっと輝き続けていくに違いありません！
K さんの益々のご活躍を楽しみに応援しております！

※本文中★の写真以外は生成 AI で作成したイメージ画像です。御本人や職場とは一切関係がありません

★の写真は掲載許可をいただいております

